

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【総合的な学習の時間】	4学年の総合的な学習の時間では、「人に優しい宮田を考えよう」をテーマに学習を進めた。調べ学習や、高齢者・車いす・アイマスク体験、点字に触れることなどを通して、福祉について正しい知識を身に付け、人権を尊重する態度を育成できるようにした。
	成果 体験学習を通して、大変さを実感する姿が見られた。体験学習後には、「もし目の不自由な人を見かけたら、優しく声をかけ手伝いをしたい。」など自分から気付き、行動したいという意欲が感じられた。 また、道徳「なにかお手伝いできることはありますか」「点字メニューにちょうせん」の学習と繋げたことで自分たちの生活を振り返って考える姿が見られた。
	課題 今回の学習では、点字の学習やアイマスク体験から目の不自由な人へのやさしさについて考えを深める児童が多くいた。命の教育などの関連を図り、様々な立場の人にも目を向けられるよう手立てを講じていきたい。
2 実践2 【異学年交流の実施】	本校では、昨年度から異学年交流として、昼休みに縦割り班活動を月1回実施している。6年生を中心に遊びやルールを考え、どの学年も楽しんで遊べるように工夫している。高学年が低学年に遊び方を教える姿や、上級生に温かく見守られながら笑顔で活動を楽しむ低学年の姿が見られた。
	成果 児童は一緒に遊ぶことを通して、互いの理解を深めることができた。高学年は、低学年を思いやることや自身の成長に気付く姿が見られ、低学年は高学年に憧れ、尊敬する発言が多くあった。 縦割り班以外の時間にも、班が同じ児童と一緒に登下校をする姿や、挨拶を交わす姿が見られる。
	課題 学校行事の関係で、時間を確保することが難しかった。縦割り班活動実施の仕方を見直し、異学年交流の機会を確保できるようにしたい。